

## 6月議会に提出された議員提出議案【5本】

- ① 精神障害者に対する交通運賃割引制度の適用を求める意見書 ⇒ 原案可決  
 〈社民党会派の対応〉 社会的に弱い立場の皆さんへの支援が必要であり、原案に賛成
- ② ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書 ⇒ 原案可決  
 〈社民党会派の対応〉 本人のみならず家族も守る必要があることから、原案に賛成
- ③ 山岳遭難者救助対策の推進を求める意見書 ⇒ 原案可決  
 〈社民党会派の対応〉 人命を第一に考え、原案に賛成
- ④ 「改正組織犯罪処罰法」の廃止を求める意見書 ⇒ 否決  
 〈社民党会派の対応〉 基本的人権を抑圧することにつながる同法は廃止すべきであり、原案に賛成  
 ◎ 東が賛成討論に立ちました。(下の写真)
- ⑤ 富山市議会政務活動費(政務調査費)の不正取得の全容を解明し、不正を根絶することを誓う決議 ⇒ 否決  
 〈社民党会派の対応〉 市民の皆様の信頼を取り戻し開かれた議会にするため、原案に賛成

## 6月議会に提出された請願・陳情【6本(一部割愛)】

- ① 市民を監視し、抑圧する「テロ等準備罪」を導入する「組織的犯罪処罰法改正案」に反対する意見書採択を求める請願 ⇒ 不採択  
 〈社民党会派の対応〉 国民の思想・信条の自由を脅かす「テロ等準備罪」は認められず、請願に賛成
- ② 一般質問における持ち時間の議員個人への割当て等を求める請願 ⇒ 不採択  
 〈社民党会派の対応〉 会派の人数によって、一議員当たりの年間質問時間に不公平が生じないようにするため、請願に賛成
- ③ 小中学校普通教室へのエアコン設置早期実現を求める請願 ⇒ 不採択  
 〈社民党会派の対応〉 できるだけ早く、子どもたちがより良い環境で学習できるようにするため、請願に賛成
- ④ 「おでかけ定期券」を、より利用しやすい制度に変更することを求める請願 ⇒ 全会一致で「継続審査」を議決  
 〈社民党会派の対応〉 「おでかけ定期券」の趣旨を踏まえつつ、より利用しやすくするため、継続審査に賛成



### 市議会レポートに対する皆様のご意見や 市政に関するご要望などをお聞かせください!

- 富山市議会社民党議員会控室  
 (市役所議会棟6階)  
 〒930-8510 富山市新桜町7-38  
 tel.443-2153 fax.441-5796  
 メールアドレス syamins@pa.ctt.ne.jp
- 自宅 〒930-0864 富山市羽根990-104  
 tel/fax.422-5010  
 ホームページ <http://www.azuma-atsushi.com/>

あずま

# 東あつし

## 富山市議会レポート

2017年7・8月

**No.3**

(発行責任者)  
富山市議会社民党議員会

### 東あつし

6月12日 本会議で一般質問(1問1答方式)

5月12日 小水力発電所などを視察

6月4日 地方政策セミナーに参加

## ごあいさつ

4月の富山市議会議員選挙において、昨年11月の補欠選挙に続き、多くの皆様から力強いご支援を賜り、2度目の当選をさせていただきました。心より感謝申し上げます。ご支援に報いるため、富山市議会での活動に全力で取り組んでまいります決意です。

6月議会では、(1)「連携中枢都市圏」を形成するための経費、(2)カラス対策の拡充に関する経費、(3)男性の育児休業の取得推進や女性が活躍できる職場環境の改善に対する助成金、(4)ライチョウの飼育・繁殖のための新たな施設整備に要する経費、(5)不育症の検査や治療における費用の助成に要する経費、(6)避難所のマンホールトイレを整備する経費などが提案され、可決されました。

私は、①通学路の安全確保対策について、②富山市の公共施設について、③小水力発電について、④まちなか総合ケアセンターについて、の4つの項目について、一般質問に立ちました。詳細については、次ページ以降をお読み取り下さい。[富山市ホームページの本会議インターネット中継で閲覧可能です]

富山市議会での不正根絶に向けては、未だ政務活動費の不適切使用が発覚しており、道半ばという状況です。議会改革については、今年度から一般質問における年間の持ち時間が90分から120分へと30分拡充されました。これは、1人会派であっても定例会ごとに質疑することを可能とする措置(30分×4定例会)で、不十分ながらも改革が前進しました。

富山市の大きな課題としては、①中心市街地を重点とした開発から、周辺部にも目を向けた開発への転換、②どこに住んでも利便性の高い公共交通の整備、③子育て世代への支援の拡充、④高齢化社会に対応した地域包括ケアシステムの確立、⑤住民目線からの公共施設等総合管理計画の実施、などが挙げられます。

これからも、皆様のご意見をお伺いしながら、より暮らしやすく、よりあたたかい行政サービスが受けられる富山市にしていくため、奮闘してまいります。

何卒、宜しくお願い致します。

## Q 通学路の安全確保対策について

**質問** 『富山市通学路交通安全プログラム』に位置付けられている危険箇所の対策について、スピード感をもって対応すべきと思うが、市道においてハード整備が必要な路線数と、その具体的な整備スケジュールは？

**答弁** 昨年12月に策定した『富山市通学路交通安全プログラム』中、市道についてはハード整備の対象は65路線（区画線の設置=24路線／カーブミラー=5路線／側溝の蓋かけ=8路線／転落防止柵=10路線／歩道の拡幅などの整備=12路線／その他、舗装の補修など=6路線）となっている。

具体的な整備スケジュールは、区画線やカーブミラーの設置は、今年度中にすべての路線を完了させることとしている。それ以外の路線についても、1日でも早く安全で安心な通学路となるよう、国の交付金を確保しながらスピード感を持って取り組んでいきたいと考えている。

【帯刀建設部長】

### 東の思い

未来の富山市を担う子どもたちの通学時の安全確保は、市として取り組まなければならない最重要課題の一つです。

保護者の皆様、見守り隊など地域の皆様、学校関係者の皆様などの、日頃からのマンパワーによる安全確保の諸活動に、心より敬意を表します。

一方で、例えばカーブミラーや側溝の蓋かけなど、ハード面の対策が必要な危険箇所は、できるだけ早く整備し、安全な通学路にしなければなりません。

29市道の安全対策、年度内に市内の通学路帯刀建設部長は、昨年12月策定の市通学路交通安全プログラムでハード面の安全対策が必要とされた市道65路線のうち、区画線が後な24路線とカーブミラーが必要なら路線の整備が今年度内に完了するとした。このほかの36路線の内は▽歩道の拡幅など12路線▽転落防止柵の設置10路線▽側溝の蓋かけ8路線▽舗装補修など6路線―と説明し、整備が進むよう国からの交付金確保に努めること、東篤氏（社民）がたじた。

富山新聞 2017年6月13日(火)

## Q 富山市の公共施設について

**質問** 牛岳温泉スキー場周辺の3つの宿泊施設について、来年度から指定管理による運営をとりやめる条例改正案が出されている件で、牛岳温泉スキー場もいずれ廃止されるのではとの懸念がある。

一方、森市長は会見で「牛岳温泉スキー場は、単年度収支で赤字が続こうが維持していく」と述べられたと報道されているが、なぜそのようにお考えになったのか？

**答弁** 牛岳温泉スキー場は、赤字になろうが廃止しないというのは、合併協議の時からずっと言い続けている。

スキー場も体育施設と位置付け、少なくとも直営のものを1か所はどんなに赤字になろうと、市民のために持っていないといけない。牛岳温泉スキー場は、初心者も取り組みやすいコースだ。赤字になっても維持する。【森市長】

### 東の思い

雪国・富山では、スキー場は子どもたちの降雪時の体育教育の場としても、たいへん重要な施設です。

議会場で市長から「市直営のスキー場を1か所は持っていないといけない」との答弁が得られたのは、意義あることだと思います。

牛岳スキー場必要スタンス変わらず  
東篤氏（社民）牛岳温泉スキー場は、公共施設の活用に関する報告書で廃止とされているが、市長は維持と発言している。その理由は、森市長「体育施設として必要だ。市民のために持っていないといけない。スタンスは変わっていない。城西公園などで小水力発電が故障した。メンテナンス体制の強化は、伊藤環境部長「未然防止の観点から、メーカー推奨の耐用年数の前でも計画的に交換することを検討する。東篤氏「まちなか総合ケアセンターと同様の施設を旧町村部でも整備できないか。森市長「財源的に不可能である。」

富山新聞 2017年6月13日(火)

**質問** 宿泊施設を借り受ける民間事業者がない場合、売却や廃止を検討することだが、指定管理している業者に対して、当該施設で働いている従業員の新たな雇用先について市から働き掛けてはどうか？

**答弁** 本来、指定管理者制度は期間を定めて行うもので、期間終了後は原則、公募を行い、新たな指定管理者を選定することとなるため、契約が継続される保証はない。従って、指定管理期間終了後の従業員の処遇については、雇用主である企業側の問題であると考えている。【上谷商工労働部長】

### 東の思い

市として中山間地でも雇用の場を確保することは、過疎化に歯止めをかけるためにも大切なことです。雇用の責任が、指定管理者である民間事業者にあっても、市民の雇用、そして生活に関わる問題なので、市は関係ないと済ませてはならないと思います。

## Q 小水力発電について

**質問** 富山市は5つの小水力発電施設を持っているが、現在、2つの小水力発電所が故障中で、復旧のめどは立っていない。

故障した小水力発電所は、導入後、5年が経過しているが、メンテナンス体制はどうなっていたのか？ また今後、メンテナンス体制を強化することを検討しているのか？

**答弁** 小水力発電所は、環境モデル都市の象徴的施設として整備したもので、現在、早期の運転再開に向け取り組んでいる。

メンテナンス体制については、月2回の月次点検に加え、年1回の年次点検、3年次点検を実施するなど、国が定める基準を満たす内容で適切に保安管理を実施してきた。

今後は設備故障の未然防止を図るため、消耗部品等についてはメーカーが推奨する貸与年数や交換時期前であっても計画的に交換することを検討するなど、引き続き長期的な視点に立って適時適切にメンテナンスを実施していきたい。【伊藤環境部長】

### 東の思い

これらの小水力発電所は、環境教育用のモデル施設として、毎年4月～5月には250人ほどの児童や生徒の見学申し込みがありましたが、今年はずべてキャンセルしたとのこと。環境モデル都市を掲げる富山市として残念なことであり、1日も早い運転再開が望まれます。

## Q まちなか総合ケアセンターについて

**質問** まちなか総合ケアセンター内の産後ケア応援室について、「市の中心部だけでなく、元の町や村役場に空いている部屋があるから、そこにも作ってほしい」との要望が出されている。富山市は広いので、旧町村部にも同様の施設を整備することはできないか？

**答弁** 産後ケア事業を民間でやっているところは全国に7か所くらいあるが、1泊2日で2万円から6万円かかる。だから直営でやるしかなく、かなり大赤字になるということだ。しかし、市民に必要な施設だから、全市民が利用できるよう中心に作った。そんな費用のかかる施設を、あっちにもこっちにも作ることは、財源的にも不可能だ。【森市長】

### 東の思い

この施設を利用されたお母さんから、「産後ケア応援室みたいところがもっと増えて、女性が安心して子育てできる環境になったらいいです」との感想が、市のホームページに掲載されています。私も視察しましたが、素晴らしい施設です。費用のかかる施設であることは理解しますが、富山市で子どもを産み育てることを希望するママが増えるよう、近い将来、増設したいものです。

東篤氏（社民）  
「中心部にある「産後ケア応援室」のような施設を、旧町村部でも整備できないか。市長「応援室は全ての市民を対象にしている。赤字覚悟で直営しており、財政を考えると複数の整備は不可能だ。―牛岳温泉スキー場周辺の三つの宿泊施設については、民間の引き受け手の見込みは、商工労働部長「難しい面はあるが、アイデア次第ではゼロではないと考えている。」

北日本新聞 2017年6月13日(火)